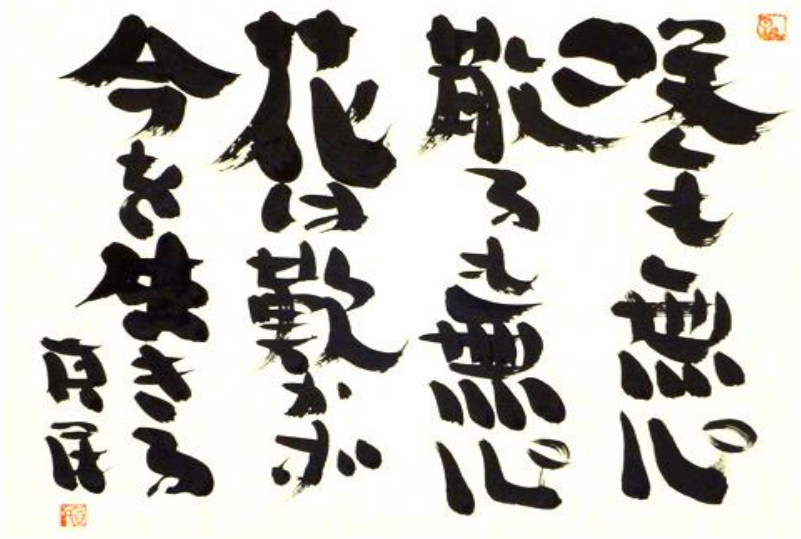
笑う門には福来たる

㈱日本交通社
発行人 光田秀之
☎089-946-3911



坂村真民記念館（砥部町）

明朗・愛和・喜働

もったいない精神

「もったいない」は他の国の言葉に完全に対応する言葉がない日本語の一つです。「もったいない」とは、物や人の能力をフルに活用せず、無駄にしていることを惜しむ心情を表現する言葉で「倹約」に近い意味を持ちます。

世界では、日々多くの人々が飢餓に苦しんでいます。こうした人々に向けた食糧支援量は年間約三七〇万トンですが、日本の食品ロスは年間約四七二万トンと、支援量の約一・三倍を廃棄しています。

これは、日本国民一人が日々、おにぎり一個分（一〇三グラム）を無駄にしている計算になります。行政は食品を扱う業種と協力して、食品ロスを減らすための様々な工夫や呼び掛けを行なっていますが、なかなか減少していません。

例えば、消費者が賞味期限の長い商品を選ぶ傾向があるため、販売者は売れ残った商品を廃棄せざるを得ないことがあります。

今こそ「もったいない」の精神を発揮して、棚の手前から順番に取る「手前取り」や「適度な備蓄」を意識することで、物も心も豊かな生活を送りましょう。

◆食品ロスの現状を知りましょう

「職場の教養」より

八木健の川柳アート

日本再発見！

登呂遺跡（静岡県静岡市）

弥生時代の農耕集落跡として代表的なものであり、日本の稲作文化が初めて証明された遺跡といえる。戦後間もない1947(昭和22)年からの本格的な調査発掘によって高床倉庫や水田跡などが発見され、弥生文化の姿を広く知らしめた。1952(昭和27)年、国の特別史跡に指定され現在は整備された歴史公園として公開されている。復元された住居や水田とともに木製農具や土器などが、約2000年前の古代に生きた人々の生活を物語っています。

すべてが私の応援団

自分とは異なる意見の中にも、成長へのヒントや気づきが必ずある。その声援に、謙虚に耳を傾けていこう。